

大分西部森林管理署交渉（全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会）

議 事 要 旨

1 日 時 令和2年8月19日(水) 17:30～18:28

2 場 所 大分西部森林管理署 会議室

3 出席者

大分西部森林管理署
同
同

益田健太 署長
森本 明 次長
有吉正司 総括事務管理官

全国林野関連労働組合大分西部森林管理署分会

同
同
同
同

猪嶋憲治 委員長代行
福泉裕介 副委員長
本田末広 書記長
庄司拓平 執行委員

4 交渉事項

- (1) 要員要求について
- (2) 車両更新について
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策について
- (4) 各種手当について
- (5) 事務改善について

5 議事概要

(1) 要員要求について

組合) 令和2年7月豪雨を受け、土木業務はさらに忙しくなることから、早急に当該業務に精通した職員の要員配置を求める。

あわせて、4つの空席ポストについてポストに見合った要員配置での解消を求める。

当局) 土木業務をはじめ、署内にある空席ポストについては、関係職員にご苦勞を頂きながら、責任ある業務を行って頂いており感謝申し上げます。

特に指摘のあった土木業務については、当該業務に精通した職員の配置について、機会ある毎に上局に要請しているところである。

役職以上の業務を行っている者に対しては、業務状況の把握に努めるとともに、積極的に相談を受け業務負担の軽減を図って参りたい。

今回、空席ポストを解消する要員配置への要求のあったことについては確實

に上局へ進達したい。

(2) 車両更新について

組合) 九州局をあげて有害鳥獣捕獲を推進している中、当署においては捕獲頭数も着実に実績をあげている。

捕獲業務において機動力を発揮している軽トラックは、老朽化も顕著で安全上の問題も危惧するところであり、署の実情としても、計画的更新の優先順位は最優先である。他の更新時期を迎える車両についても早期に更新を求める。

当局) 当署においては有害鳥獣被害が多く、森林整備を適切に行う上で、有害鳥獣捕獲業務は重要と認識している。

軽トラックについては、森林事務所に配備して、日々、有害鳥獣捕獲のほか路網整備等に活用しているところであり、特に、捕獲した有害鳥獣の個体を適切に処理するためには軽トラックが最適であり、当署での重要な捕獲業務に不可欠な器材として認識している。

また、修理経費が嵩むなど老朽化が進んでいることから、軽トラック調達の優先順位を高くして、局に車両更新を上申しているところである。

今回、軽トラックをはじめ車両の更新の要求のあったことについては確実に上局へ進達したい。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策について

組合) 新型コロナの感染予防対策について、引き続き、職員の感染予防のための対策をお願いします。

一方で、近く、第2波、第3波がくるのではと言われており、同時に働き方改革等でもテレワーク導入が着目されている。万が一の感染疑い者等が発生した場合のための在宅勤務に備え、テレワークで使用するPCや通信の資機材を揃え、業務継続できうる環境整備を求める。

当局) 新型コロナの感染症予防対策の取組に対しては、理解と協力を頂いており感謝申し上げます。

万が一、当署内で感染者が発生した場合は、感染した職員の受診等を支援するとともに、濃厚接触者に該当する職員等に在宅勤務（テレワーク等）を指示することを想定しているところである。

テレワークは、従前より、働き方改革を進める一環として意義があるところであり、円滑なテレワーク環境の整備を上局に対して上申したい。

(4) 各種手当について

組合) 昨日手交した「2020人事院勧告に関する要求書」記載のとおり、特に燃料の高騰等の社会経済状況の変化、職員の生活実態を踏まえた支給額の引き上げのための通勤手当の拡充を求めているので上局に進達されたい。

当局) 通勤手当の拡充も含め「要求書」を受領したことについて、確実に上局へ進達したい。

(5) 事務改善について

組合) グリーンサポートスタッフ (GSS) については職員の休日勤務の取扱いの労働条件に係わる問題と認識しており、外部委託化により、休日就労に係る勤怠管理や安全管理上の問題等の解決に繋げるべきと考えている。

外部委託の実現に向け、上局も含め前向きに改善努力するよう求める。

当局) 性質上、休日主体の活動となる GSS については、実施形式の直営から外部委託への切り替えを上局と折衝しているところであり、引き続き、外部委託化など事務改善に向けて局と所要の調整を図って参りたい。

今回、要求のあったことについては確実に上局へ進達したい。

以上